



発行者

諫早市立真城中学校

校長 山内 昇

## 学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。 (德育)
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造力に富む生徒を育成する。 (知育)
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。 (体育)

### ○ 登校時間について

真城中では、生徒会で「登校の際は、7時55分までに校門通過、8時までに教室に入り一日の準備をしよう!」という目標を立てています。10月までは、7時40分から50分に登校する生徒が多かったのですが、12月に入り、50分過ぎに登校する生徒が増えてきました。また、55分以降に、走って校門に入り、慌てて玄関を目指す場面をよく見かけるようになりました。校門付近は、給食センターや工事関係の方の車両も通過し、急いでいると周囲を見る余裕もなくなり、大きな事故にもつながる可能性も高まります。ゆとりをもった行動が大事だと感じます。遅刻となる時刻は8時5分ですが、朝の起床時間を、朝食、身支度などの時間を逆算して、自分の力で起きることを目標に実践してほしいと思います。



ちなみに、日本の新幹線の平均遅延時間は、30秒以内だそうです。時間を守ることは、日本人の美德の一つだと思います。起床・就寝のセルフコントロールを的確に行い、自律した生活が送れるようになってほしいと願っています。

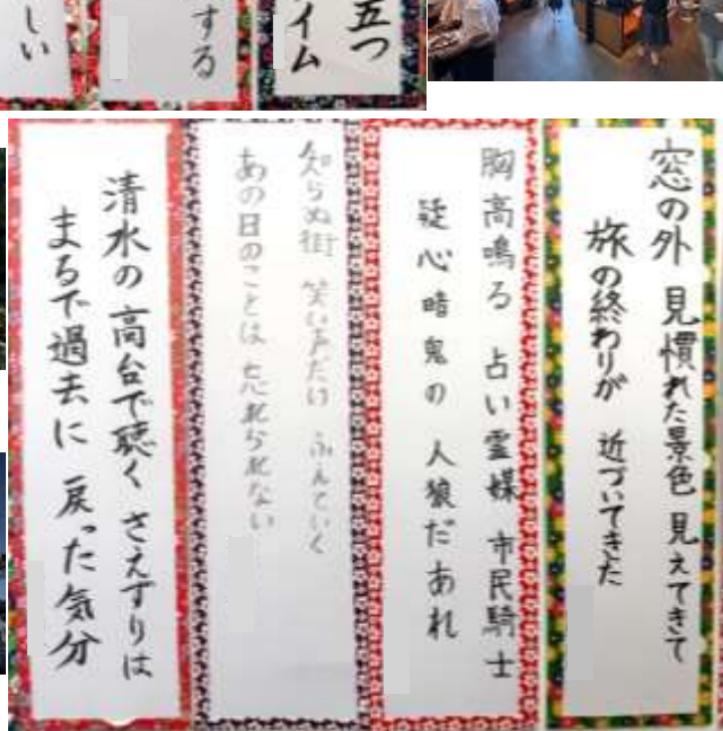
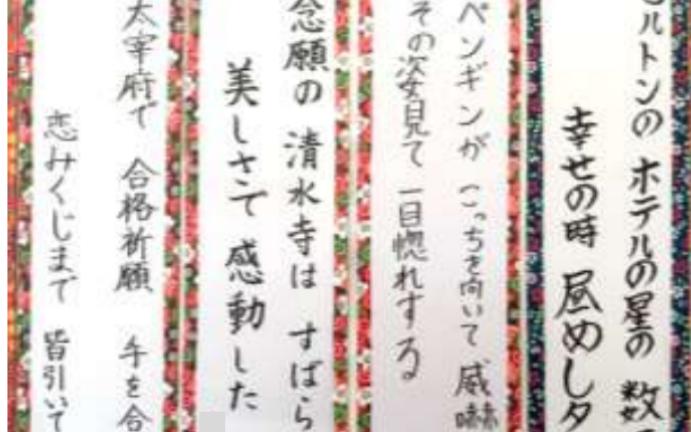
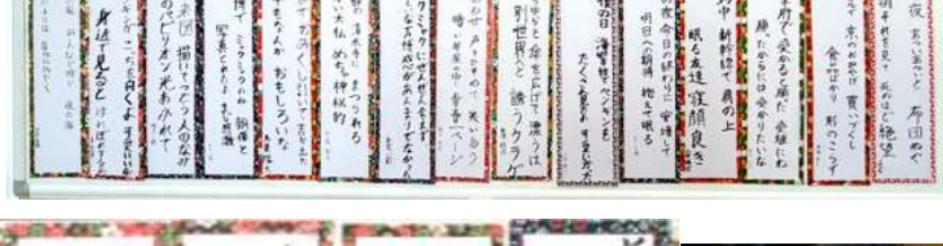
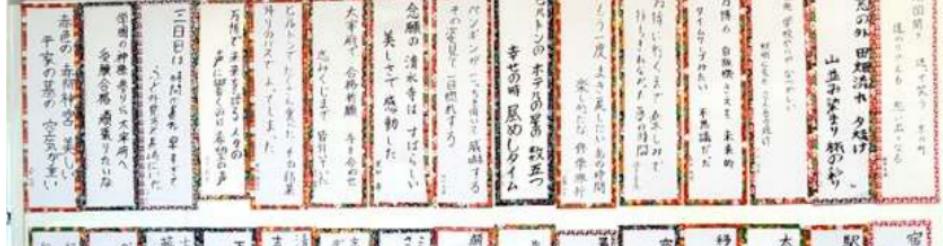


なお、最近は生徒玄関前の落ち葉の量が増えたので、朝からボランティアで清掃を行ってくれる生徒が増えてきました。また、泥で汚れたタイルを掃いてくれる人もいます。多くの生徒の活躍のおかげで、美しい環境を保つことができています。ありがとうございます。



## ○修学旅行の短歌について（2年生）

2年生の国語の授業で、修学旅行をテーマにした短歌を作成しました。2年生の廊下に掲示していますので、12日（金）の授業参観の折にご覧ください。どれも力作ぞろいで、短い文の中に、数々の思い出が込められています。俳句と比べて文字数が多いので、描写が丁寧になり、その時の光景がよみがえってくるようです。日本の伝統のよさを、改めて感じることができました。個人的には、「ヒルトン」の歌が、心に刺さりました。また行きたいです・・・・。



## 今日の給食（12月9日）



9日（火）は、**クリームシチュー、ワインナーとキャベツのソテー、みかん、コッペパン**でした。この日は、コッペパンがいつもより大きく (+10g)、食べるのに少し苦戦しました。テーブルマナー的にはどうかと思いますが、ついついシチューをパンに浸して食べてしまいました。A.I.によれば、カジュアルな場ではOKとのことでした。クリームシチューはコクがあり、給食ならではのおいしさでした。手作りの優しい味でした。キャベツのソテーとの相性も抜群でした。見た目よりもボリュームがあり、食べ応えがありました。地元のミカンでサッパリ口直しができました。寒い冬にぴったりのメニューでした。

また、今日（10日）は、**鶏肉の竜田揚げ**が出ました。生徒たちの「ヤッター！ 美味しそう！」という大きな声が印象的でした！